

愛知登文会総会報告

第5回

平成27年6月3日発行

平成27年度総会

平成27年5月26日（火）開催

平成27年5月26日（火）、日本陶磁器センター3階の大会議室において、愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会平成27年度総会を開催しました。

会場としてお借りした日本陶磁器センターはこの3月に登録有形文化財への答申があった建物で、趣のある大会議室のある旧館、その旧館を曳家して桜通に面して建てられた新館がともに登録有形文化財に登録されることとなります。

総会及び当日の様子を以下にご報告します。



日本陶磁器センター旧館北面

総会

午後2時～3時

- 1 開会の辞 / 2 会長挨拶 / 3 来賓祝辞 / 4 議長指名
- 5 議題
 - 第1号議案 平成26年度事業報告
 - 第2号議案 平成26年度決算報告及び会計監査報告
 - 第3号議案 規約の一部改正（案）
 - 第4号議案 平成27年度役員について
 - 第5号議案 平成27年度事業計画について
 - 第6号議案 平成27年度予算について
- 6 閉会の辞
- 7 写真撮影



大会議室にて記念撮影

平成27年度総会は、正会員総数52名のうち41名出席（うち委任状23名）のもと、佐地秀明副会長の開会の辞で始まりまして。ご来賓には、愛知県教育委員会文化財保護室長 富田正美様、あいちへりテージ協議会代表世話人 望月昭様、なごや歴まちびとの会会長 野村昭男様にご臨席を賜り、ご祝辞を頂戴しました。議題では、第1号議案「平成26年度事業報告」から第6号議案「平成27年度予算について」まで審議した結果、いずれも原案通り全員一致で異議なく承認されました。規約改正により登録文化財建造物の優良な活用を行った所有者、管理者等に対する表彰事業を実施するための条項が加わりました。



登録文化財紹介

午後3時～5時

総会終了後、7つの登録文化財（窯のある広場・資料館、寂光院、墨会館、棚橋家住宅、知立神社、旧本多忠次邸、森川家住宅）の所有者の方から、歴史や建物の特徴、活用状況、所有者としての想いなどをお話していただきました。江戸時代に建てられた古い建物であったり日本を代表する世界的な建築家である丹下健三氏設計の建物であったりどれも魅力的な建物で、建物にまつわる歴史は大変興味深い内容となりました。

＜ 一休憩一 日本陶磁器センター建物案内ツアー ＞

交流会

午後5時40分～7時

総会、登録文化財紹介を開催した大会議室にて交流会を実施しました。文化財所有者様の自己紹介や長谷川会長から今回も振る舞っていただいた犬山の銘酒：忍冬酒のお話などを経て、柴田理事の乾杯の音頭で会が始まりました。今回初めての参加者の方も含め、総勢48名の方々に参加いただき、親睦を深める良い機会となりました。



柴田理事の音頭で乾杯



忍冬酒を口にする参加者

役員新任体制

*印は今年度新任した役員。()内は所属・所有文化財名称等。

理事長(会長)	長谷川良夫	(犬山城下町を守る会会長)
理事(副会長)	佐地 秀明	(名古屋陶磁器会館)
"	小栗 宏次	(小栗家住宅主屋ほか)
理事	天野 啓介	(大野宿鳳来館ほか)
"	石川新太郎	(明治村・第八高等学校正門ほか)
"	岡田 妃代	(大野宿鳳来館ほか)
"	笈 清澄	(笈家住宅主屋)
"	柴田 正康	(柴田家住宅主屋)
"	清水 勝之	(岡崎信用金庫資料館)
"	若山 宏	(名古屋テレビ塔)
理事(事務局長)	松井三希子	(名古屋陶磁器会館)
監事	近藤 佳世*	(愛知県教育委員会文化財保護室)
"	久野 恭裕	(C R A F I S総合会計事務所)
相談役	瀬口 哲夫	(名古屋市立大学名誉教授)
"	杉野 丞	(愛知工業大学建築学科教授)
"	小川 芳範	(愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室長補佐)
"	井澤 知旦	(名古屋学院大学経済学部教授)
"	牧 謙治	(愛知県立名古屋西高等学校教頭)

会長あいさつ

会長 長谷川良夫

平成23年に設立され、今回で5回目の総会となります。これは会員皆様のご協力と愛知県文化財保護室の良きご指導のお陰です。当初、年に数回見学会ができればと思っておりましたが、幸いにも文化庁の補助事業に採択され、多くの事業を実施することができました。事業を通じて所有者の置かれている厳しい状況も明らかとなりました。相続税の問題は大きく皆様の協力の基に友好団体と連携して、文化財に対する相続税の更なる減免の要望活動を行いたいと思います。他人任せにしては、何も改善されません。皆様のご支援をお願いします。

愛知登文会では、昨年度に引き続き平成27年度も文化庁補助事業「文化遺産を活かした地域活性化事業」との連携により活動を実施するとともに、会独自の事業として情報発信や県外視察などを実施する予定です。なお、文化庁補助事業については5年目となり補助額が大きく減額されたことから愛知登文会として独自性のある事業を絞り込んで実施します。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

文化庁補助事業「文化遺産を活かした地域活性化事業」による事業(予定)

文化財所有者プロジェクト—文化財建造物の所有者がその所有建造物の社会的価値を認識して、保存・活用に向けた意識改革や取組みを促進していく事業

- ① 文化財建造物保存・活用講座事業(継続) —全4回を予定
 - ・第1回:6/22(月)に(現地視察)「一宮市 森川家住宅」を開催予定。
 - ・第2回以降の内容は調整中。
- ② 登録文化財特別公開事業(継続)
 - ・特別公開日を定め、普段公開されていない登録文化財の公開や専門家による建物解説などを行う。スタンプラリーもあわせて行い、文化財を巡ってもらうようにする。
 - ・名古屋市、犬山市、尾張、三河の4地区、4日間で公開を予定。(11月の実施にむけ調整中)
- ③ 登録文化財活用発信事業(新規)
 - ・愛知県登文会独自の取組みである、こども文化財体験事業、こども文化財ガイド事業について、取組みの概要や実施にあたっての留意点などを取りまとめた冊子を作成。県内の所有者や他都府県の登文会に配付し、実施を働きかけたり、今後の取組みの参考にってもらう。

文化財こどもプロジェクト—こどものころから文化財に係わり、馴染んで、その存在を誇りに思い、将来の文化財に対する理解者を増やしていく事業

- ① こども文化財体験事業(継続) —1回実施予定
 - ・実施箇所を調整中(実施を希望する所有者の方がみえましたらご連絡をお願いします)
- ② こども文化財ガイド事業(継続) —1カ所で実施予定
 - ・墨会館(一宮市)にて実施予定。登録文化財特別公開の際にこども達にガイドしてもらう予定。

その他、独自事業(予定)

地域連携プロジェクト —地域での主体的な取組みと連携し、来訪者に対して地域文化の紹介を行う人材を育成するとともに、登録文化財のネットワーク化を図ることにより回遊性を高め地域活性化を推進する事業。
今年度は文化庁補助事業としては実施せず、昨年開発した iPhone アプリ「登録文化財ナビ」の活用促進に取り組む。



登録文化財

愛知登文会の情報発信 —ホームページ・フェイスブックによる情報発信を行うとともに、総会報告及び活動報告等を取りまとめた愛知登文会ニュース(年3回)を制作・発行する。

県外視察 —県外の登録有形文化財や先進的取組み等を視察する県外視察を企画・実施する。(継続)

表彰についての検討および実施 —登録文化財建造物の優良な活用を行った所有者・管理者等に対する表彰について、具体的な検討を行い実施する。(新規)